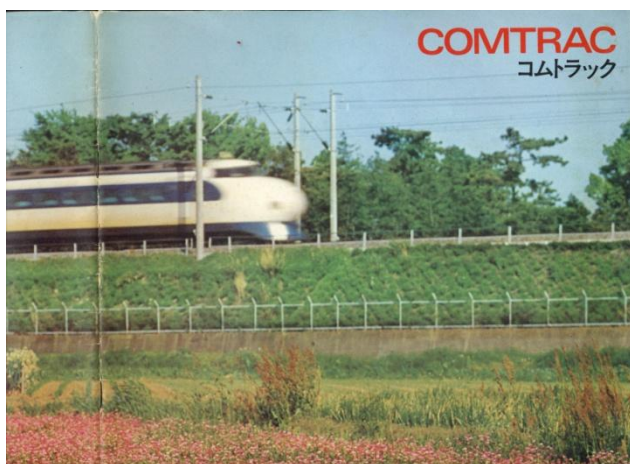
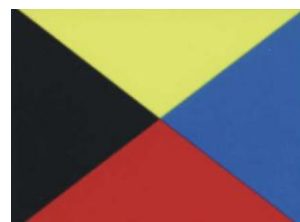


COMTRAC Ph-1 40周年記念会

1. 式次第	2
2. 40周年記念会出席者名簿	3
3. 皆様からのメッセージ	4
・(株)日立製作所 の方々からのメッセージ	4
・御欠席の方々からのメッセージ (JR、旧国鉄)	5
・御欠席の方々からのメッセージ (日立)	8
・交通システム設計部歴代部長メッセージ	9
4. COMTRAC システム開発の追想	12
5. COMTRAC の 40 年間を振り返って	18
6. 付録	22



▲ 1972年3月 COMTRAC パンフレットより



▲ Z 旗



▲Z 旗を胸に秘めて
記念として作られた
ネクタイピン

開催日：2012年11月20日 (火)

場 所：(株)日立製作所 インフラシステム社大みか事業所
日立 大みかクラブ

1. 式次第

・大みか事業所(お)内式次第

- (1) 13:45 (お)集合
- (2) 14:00 (お)幹部の歓迎挨拶
- (3) 14:10～14:30 『COMTRAC Ph-1 の思い出』 井原廣一の記念講演
- (4) 14:30～15:15 (お)現況説明:プレゼンテーション・ルーム
- (5) 15:15～16:30 (お)現場視察ツアー 制御資料室、最新工場の現場
- (6) 16:30～17:00 (お)から大甕クラブへ移動 ……全員バスで移動

・大みかクラブ祝賀会式次第

- (1) 17:20～17:30 40周年記念の写真撮影
- (2) 17:30 開会
- (3) 17:35～17:40 開会の辞
- (4) 17:40～17:50 JR側挨拶
- (5) 17:50～18:00 日立側挨拶
- (6) 18:00～ 乾杯
- (7) 懇談とスピーチ
- (8) 19:15 閉会の挨拶
- (9) 19:20 締め
- (10) 19:30 祝賀会後のご案内

2. 40周年記念会 出席者名簿

JR(旧国鉄)

日立

No	氏名	No	氏名
1	秋田 雄志	1	浅井 克巳
2	石原 嘉夫	2	井手 寿之
3	稲毛 弘苗	3	井原 廣一
4	大島 一男	4	内田 芳勲
5	奥村 幾正	5	太田 秀夫
6	小原 光夫	6	大竹 悟
7	北川 庄一	7	緒方 誠之助
8	北原 文夫	8	加治 進
9	化生 順治	9	片平 正樹
10	後藤 眞一	10	久保 裕
11	小林 輝雄	11	解良 和郎
12	小堀 雄三	12	小出 進
13	坂田 良弘	13	高坂 正敏
14	篠谷 一丸	14	斎藤(小野)昌江
15	菅沼 史郎	15	佐藤 友良
16	鈴木 薫	16	島村 譲
17	関 秋生	17	田代 勝男
18	中村 秀夫	18	田代(高橋)真里子
19	長谷川豊	19	辻川 秋雄
20	菱沼 好章	20	新沼 猛
21	福井 宣夫	21	根本 文雄
22	藤沢 輝知	22	服部 暁彦
23	藤沼 幸雄	23	馬場 長男
24	本田 繁	24	林 祥介
25	松沼 正平	25	藤吉 俊太郎
26	横田 重雄	26	水島 通保
27	吉田 一哉	27	南出 節男
28		28	吉田 和栄


(あいうえお順)

(株)日立製作所 現役出席者

No	氏名	
1	鈴木 學	本社技監
2	菊野 仁史	交通システム社 営業統括本部 統括本部長
3	戸次 圭介	交通システム社 輸送システム本部 本部長
4	滝田 敦	インフラシステム社 COO(最高執行責任者)
5	菊地 邦行	インフラシステム社 システム統括事業部 交通システム本部 担当本部長

3. 皆様からのメッセージ

㈱日立製作所の方々からのメッセージ

部署	氏名	メッセージ
㈱日立製作所 代表執行役 執行役社長	中西 宏明	<p>COMTRACから出 発した技術成果が、ア ジア、欧州の鉄道に まで適用拡大されつ つあります。大いに 発展させていきます ので今後とも応援い ただきたいと存じま す。</p> <p>平成24年11月 ㈱日立製作所 代表執行役 執行役社長 中西 宏明</p> 
㈱日立製作所 中部支社 支社長付き	佐々木 浩巳	<p>COMTRAC Ph-1 40 周年おめでとうございます。</p> <p>現在 COMTRAC は Ph-9 を開発中であり、本年7月に PRC 系の取替えを終了し、現在無事稼働しております。今後、EDP 系の取替えをもって今回のプロジェクトが全て終了する予定となっております。</p> <p>今回の祝賀会には是非参加させて頂きたかったのですが、既に予定が入っており、失礼させていただきます。</p> <p>先輩方の築き上げてこられた素晴らしい COMTRAC システムが更に発展することを心よりお祈り申し上げます。</p>

御欠席の方々からのメッセージ (JR、旧国鉄)

氏名	メッセージ
海老原 浩一	御案内ありがとうございます。 もう出かけて行く元気がありません、皆様によろしく。 御盛會を祈ります。
千年 茂	COMTRAC Ph-1 40周年記念会の企画、本当にご苦勞様です。 是非出席して懐かしい仲間に出たい気持ちが一杯ですが、現在体調が優れないことと、私ごとですが法事が前日あり、誠に残念ですが欠席します。 ご出席の皆様には宜しくお伝えください。
高桑 祐吉	国鉄入社して始めての実務ということで従事し、仕様書の作成から、大みか工場でのコンパイラ、モニターラン、コントロールランと貴重な経験をさせていただきました、40年前が昨日のように思い出されます。 皆様のご健康と御活躍を祈念しております。
新納 利昭	昨年より趣味中心の生活に入り、居合の稽古や、本での囲碁の勉強に励んでいます。 皆様にお会いできるのを楽しみにしていましたが、今回は私事の都合により欠席させていただきます。
五十嵐 敏夫	COMTRAC Ph-1完成40周年おめでとうございます。 当日は所用があり欠席いたします。
鈴掛 操	陶芸で日々遊んでいます。 当日は予定が入っており、残念ながら欠席させていただきます。 皆様方々の活躍をお祈り致します。
宮野 周二	・国鉄、JR九州、九州電気システム、そして現在は大同信号に勤めています。 ・八代～鹿児島新幹線、九州新幹線開業の仕事にかかわることができてラッキーでした。
榊原 秀機	ご出席の皆様へ 誠に残念ですが、所用のため出席できません。 皆様のお顔を拝見出来ず申し訳ありません。 現在、北陸・函館新幹線の工事を施工しておりますが、皆様の築かれたコムトラックが成長を続けています。 祝賀會が盛大に楽しく行われることをお祈りいたします。

氏名	メッセージ
土師 総一	<p>御連絡ありがとうございます。 所用があり欠席いたします。</p> <p>コムトラックには昭和49年1月に大みか工場に参ったのが、始めてです。その時は博多対応Ph-2でした。</p> <p>アセンブラでプログラムを組んだことを懐かしく思っています。</p> <p>御盛会お祈り致します。</p>
北村 康二	<p>お誘いに感謝しつつ、盛会を祈念します。</p> <p>東日本大震災では、私の市も1/3が津波に浸水し、179名の方が亡くなられました。</p> <p>近くまで津波は来ましたが無事でした。</p> <p>鎮魂と復興を願いつつ、ゆっくりゆっくり四国歩き遍路中です。</p>
橋本 政明	<p>4月に入院し、その後、また7月に入院し、現在、1ヶ月に1回検査に行っています。体調は回復中ですが、用心のため、今回は欠席させていただきます。</p>
宮島 恒夫	<p>田舎の片隅でボチボチとやっております。</p> <p>果実もコムトラックの話が出た時、久しぶりに当日は苦しくも楽しい日々を思いだしたことでした。</p> <p>若きことは素晴らしいことだとわかる今日この頃です。</p> <p>皆様の更なる御活躍をお祈り致します。</p>
小野 力	<p>重鎮の方ばかりで気遅れしてしまい、思わず欠席を選んでしまいました。</p> <p>未長く続くシステムの一端を担当出来た事は幸せでした。</p>
下川 勇作	<p>国鉄を退職して、はや25年、退職後はゴルフ練習場、写真ラボを経営していましたが昨年すべてをたたんで、今はライオンズクラブ、交通安全活動等ボランティアで地域の人々との交流を楽しんでいます。</p> <p>40周年記念会の御盛会並びに、皆様方の御健勝、御多幸をお祈り申し上げます。</p>
村上 俊雄	<p>COMTRAC 1 大変なつかしい言葉です、けれども、私はPh-2だったと思います。</p>
松元 憲次	<p>Ph2より参加しています。昭和47年 12 月31日寝台列車「はやぶさ」で天本君と上京しました。</p> <p>船橋寮、杉田寮、日立有山寮、川崎寮と転々としました。</p> <p>地震は大変だったことでしょう。現在は園芸しながら、山登り、水泳にと行っています。</p> <p>鹿児島にも”おじゃいやんせ”。</p>

氏名	メッセージ
松本 雅行	<p>Ph1には参加していませんが、Ph2、Ph5を担当するとともに、コムトラック指令にも在籍していました。</p> <p>50周年の時は参加したいと思います。</p>
五十嵐 得郎	<p>あいにく所用により欠席致します。</p> <p>現在JEISにて、悪戦苦闘の毎日です。ICTという最先端の分野に身を置いているはずが、泥臭い仕事にどっぷり漬かっています。</p> <p>そういえば、COMTRACもそんな感じでしたよね(?)。</p>
田中 豊司	<p>対象者に加えて頂き、光栄に存じます。</p> <p>折角の機会ですが、当日、避けられない業務予定がございますので、失礼させていただきます。</p> <p>私こと、現在もCOMTRACに関連した業務に就いております。</p>
宮芝 博	<p>三田の片田舎で毎日犬の散歩を楽しんでいます。Ph1といえばフルキーボードで駅名の入力に苦勞したこと、また、ある時は冗談で上／下の区分を指定せず追跡中断画面を入力したところ、エラーになる予定が東京、新大阪、岡山が中断となり、その後、次々と駅が中断し、終日全駅手動扱いになりました。後で理由を聞かれ困ったことを思い出しました。</p> <p>皆様のご活躍とご健康をお祈りしています。</p>
辺見 正勝	<p>去年9月で一切の仕事をやめ、自宅でのんびり過ごしております。</p> <p>(Ph-1開業後、40年過ぎ、自分の年の老いぶりを実感しております)</p>

御欠席の方々からのメッセージ (日立)

氏名	メッセージ
竹鼻 幸男	<p>最近はずいぶん遠い外出も大変になってきました、自宅にて静養することが多くなってきております、残念ですが、欠席させていただきます。</p> <p>COMTRACなんてなつかしい名前にふれられ感激しております。</p> <p>皆様によろしくお伝えください。</p>
小淵 要	<p>懐かしい皆様にお逢いしたいのですが、この所、体調をくずしており、出席できません。</p> <p>御盛会をお祈り申し上げます。</p>
星川 昭	<p>60才の手習いで油絵を習っております。</p> <p>11/20日はスケッチ旅行で(長野県妙高山の方へ)あいにく留守にします。</p> <p>なお絵の上達度は東光会の小作品全国展示会において昨年と今年の2年連続入賞(努力賞)ました。</p> <p>旅行会の幹事なので変更出来ず、残念です。</p>
川合 義憲	<p>COMTRACの開発に参加させて頂き、皆様と一緒に40年前に仕事できた事、なつかしく思っております。</p> <p>小生はその後水戸工場で根本さん、浅井さんと共に公民鉄道の運行管理システムの開発に携わることが出来たのも皆様のあの時の御指導のお陰と深く感謝しております。</p> <p>ヒザもリハビリで回復しました。</p> <p>皆様の御健康と盛会をお祈りいたします。</p>
五嶋 将	<p>案内頂き有難うございます。元気に過ごしておりますが、当日は先約があり参加できません。</p> <p>盛会をお祈りします。</p>
八木澤 幸男	<p>H23年1月に日立からさいたま市に転居しました。</p>
大野 秀行	<p>今回出席出来ず申し訳ございません。</p> <p>98歳の父の動脈瘤手術後の経過入院検査の予約がある為、この週は出掛けられません。</p> <p>※退職後は家業の不動産賃貸経営の手伝いと空いた時間でトラベルライターとして取材と出版をスポットで稼いでいます。</p>
鈴木信五	<p>2013.1.1に大網白里市に昇格します、盛会をお祈りします。</p> <p>皆さんに宜しくお伝えください。</p>

COMTRAC 40周年記念会 交通システム設計部歴代部長メッセージ

初代部長 解良 和郎

この度はCOMTRAC Ph-1 40周年記念会の開催、誠におめでとうございます。

心よりお慶び申し上げます。

今日の運行管理システムの発展に対して、関係者のご努力に敬意を表します。

この運行管理システムの源流が40年前のCOMTRAC Ph-1のシステムにあります。

COMTRAC Ph-1の開発は当時の技術背景、開発内容等から見て、大変なフロンティアであったと思います。鉄道技術研究所での実験システムでのベースがあったとは云え、大半のアプリケーションはこの時開発されたものです。また当時は制御用計算機が出始めた頃で、新幹線の制御を計算制御でやるというのは初めての経験で、大いなる挑戦であり、大変な開発であったと思います。しかもこれらの開発は国鉄／日立の共同開発で、機能仕様書完成から14.5か月という新幹線の運行管理史上、最短の期間での開発であったことには改めて驚かされます。

今後とも日本の安全で安定した鉄道システムインフラが国内の鉄道はもとより、グローバルにも展開されることを心より祈念しております。

第2代部長 太田 秀夫

この度はCOMTRAC Ph-1 40周年記念会の開催の由、誠におめでとうございます。

私はCOMTRAC Ph-1には開業直後の4月に入社した新入社員として、現地から送られてくる青焼きコピーに朱記訂正されたフローチャートなどの原図訂正担当の立場で参画させていただきました。その後、すぐに博多開業に向けてPh-2のプロジェクトが始まり、二重化三台系システムの構成制御サブシステムを担当させていただきました。

運行管理システムはその後、いくつかのリプレースや見直しを経て、FTC(フォールトトレラントコンピュータ)他による集中型と各駅に進路制御機能を置く分散型が採用され、現在に至っていると理解しています。近年、日本の製造業、特にB2C型の製造業が苦戦を強いられている中で日立はB2Bと申しますか社会インフラ分野に注力しつつありますが、交通システムはその代表格として最も期待される場所だと思います。

JRの方々をはじめ本日ご参集された皆様の益々のご健勝と、日立の交通システム技術者が今後世界中で活躍されることを祈念してお祝いのメッセージとさせていただきます。

第3代部長 篠本 学

40周年を心からお慶び申し上げます。

COMTRACは日立の制御システムのルーツです。

小生が担当したのは、改造、増設、リニューアルなどでしたが、先輩の残された偉大な金字塔を汚さぬよう、品質重視など苦勞したことを思い出されます。特に、他の交通のプロジェクトと時期が重なり、設計者は元より人の確保に大変苦勞しました。

改造案件などは、やはり最初から携わっていた人たちが必須で、引っ張りだこの状態でした。

特にその中でも、HECの方々には大変ご尽力いただいた事を、今更ながらに、有難く思います。

いまや日立全社のビジネスで制御と情報が核となっており、そのまさに立上げをCOMTRACが担ったと言えます。COMTRACの成功が、まさにスタートポイントであったと思います。

40周年を迎え、今日我々があるのも諸先輩のご尽力の賜物であり、業績の偉大さをあらためて感じると共に、その後の維持拡大のプロジェクトに携わった方々のご尽力も含め、心から深謝申し上げ、お祝いのメッセージとさせていただきます。

第5代部長 東原 敏昭

「COMTRAC Ph-1 40周年記念会」誠におめでとうございます。

私は、Ph-5への切り替えプロジェクトに参画しました。

その時、排他制御、同期処理などシステムアーキテクチャの美しさを感じ、諸先輩の深い知恵の一端に触れさせて戴きました。

ご盛会をお祈りいたします。

(出張中のドバイよりメッセージ戴きました。これからサウジアラビアへ入るとの事でした。)

第6代部長 藤原 和紀

40周年記念、誠におめでとうございます。

中東でも日立の鉄道分野はネームバリューがあります。

この地で売り込みたいと思います。

返信が遅れまして申し訳ありません。

現在、4月からHPT(日立プラントテクノロジー)に転属になり、10月からサウジアラビアの有力ゼネコンと合弁会社を作るための準備室長を拝命し、11月初旬よりサウジアラビアに長期出張で赴任の準備をしております。

相手先のオフィスの一部を借用し対応しており、メールなどの準備が不十分で回答が遅れました。

(出張中のサウジアラビアより戴きました。)

第9代部長 藤島 康剛

COMTRAC Ph-1 40周年記念おめでとうございます。

COMTRACプロジェクトは、信頼性、安全性に対し妥協を許さない世界最高水準のシステムを社会に提供し続けました。

これは、日立とお客様がwin-winの関係を築き、そしてその関係を先輩から後輩へと脈々と引き継がれた賜物と考えます。

そのようなプロジェクトに私も参画できたことは誇りに思っております。

COMTRAC Ph-9のPRCも無事に運用開始したと伺っております。

今後もCOMTRACが進化を遂げ、社会インフラのリーディングテクノロジーとして発展されますよう御祈念申し上げます。

第11代部長 小林 毅

COMTRAC Ph-1 40周年おめでとうございます。

1972年岡山開業時に、当時の国鉄様からご指導頂き、国内初の運行管理システムを官民共同で開発したと聞いております。

以降、40年間、日本の大動脈である東海道・山陽新幹線の運行管理に携わることができたこと、大変名誉なことであると考えております。

小職の在職中には、山陽新幹線・九州新幹線の相互乗り入れ、およびCOMTRAC Ph-9の開発を実施させて頂きました。相互乗り入れ、第二指令切替、東京指令切替を無事完遂できたのも、JR東海殿、JR西日本殿、JTIS殿のご指導の賜物であると感謝しております。

小職は、2012年4月に品証に異動致しましたが、設計・品証一体となって、COMTRACの品質維持に努めて参りますので、引き続きご指導の程、宜しくお願い致します。

第8,10,12代部長 菊地 邦行

COMTRAC Ph-1 40周年、誠におめでとうございます。

COMTRACのシステムをPh毎に更新する都度、初期建設時に指令業務への高度な機能要件の設定や安全性確保に向けたアーキテクチャの検討、並びに開発完遂の志に感銘を受けています。

COMTRAC Ph-1は、旅客の高速大量輸送を安全に輸送する基盤で有り、且つ日本の鉄道の運行管理の礎となりました。その後、国内の各システムへ継承されて進化をとげ、現在の新幹線輸送の発展に貢献してきたと思います。

私は、民営分割前の開発であったPh5から参画させて頂きました。当時、MMSを担当し、新たに追加になったMAP系と連携した機能と指令卓のバックアップの機能の開発に携わる事ができ、関係各位から多々ご指導を頂きながら、プロジェクトに参画できた喜びを感じました。

今後も、鉄道システムの安全安定輸送に貢献すべく、品質確保に尽力します。また、これまで培った技術と経験を基に、関係者と連携しながら日本連合の一員として、グローバル展開すべく取組みを行ってまいります。

4. COMTRAC システム開発追想

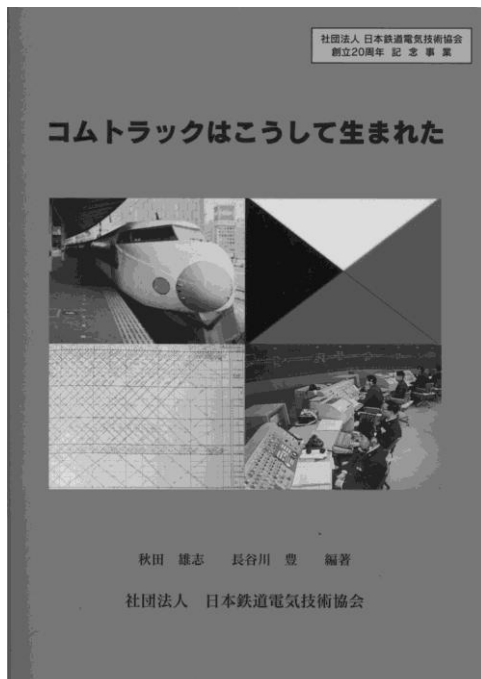
COMTRACシステム 開発の追想

営業運転開始40周年を迎えて

平成24年11月20日

於 インフラシステム社 大みか事業所

元大みか工場 井原 廣一

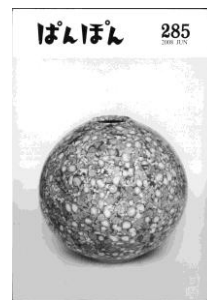


▲『コムトラックはこうして生まれた』

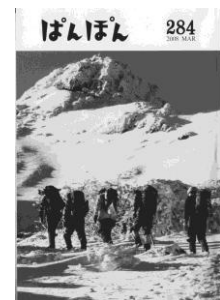
秋田 雄志 長谷川 豊 編著

2011年9月 発行

想いでの記録



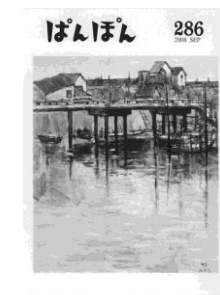
2007年12月



2008年3月



2008年6月



2008年9月

▲『ばんぼん』：日立製作所

日立事業所発行文芸誌

COMTRAC-Ph1建設経過(S43年より45年)

43年	JNR日立参加、重要技術課題(実験システム)
44年 7月	大みか工場発足
11月	JNR COMTRACの審議開始
45年 2月	JNR COMTRAC導入の審議
3月	JNR建設承認 日立受注予定 鉄研にH-7250納入
9月	JNR 計画審議導入決定 JNR 機種の決定 プロジェクトの発足予定(受注見込手配) 47年4月1日営業運転、45年12月にGFC完成 水戸工場の3名(お)に常駐派遣
10月20日	JNR プロジェクト発会式 運用部会、技術部会設置 プロジェクトチーム発足 日立正式受注決定(見込手配)
12月	JNR 機能仕様書案提示

COMTRAC-Ph1建設経過(S46年前半)

46年1月	JNR 東京新幹線電気工事所設置 所長吉田一哉氏就任 (お)内にプレハブコムトラック設計室増設
1月26日	JNR大みか監督官事務所 15名派遣 日立9人 JNR国労、動労、鉄労派遣条件現地調査 歓迎会 日立スケート場・袋田の滝・ 袋田温泉長生館・猪鍋
4月	システム技術本部より3名派遣
4月5日	JNR 機能仕様書確定
5月	JNR 6名追加 Z旗掲示
6月	JNR 47年3月15日営業開始で工程短縮 PRCの基本OK 他は47年9月として回答 ボーリング大会(コムトラック盃)

COMTRAC-P h 1 建設経過 (S46年後半)

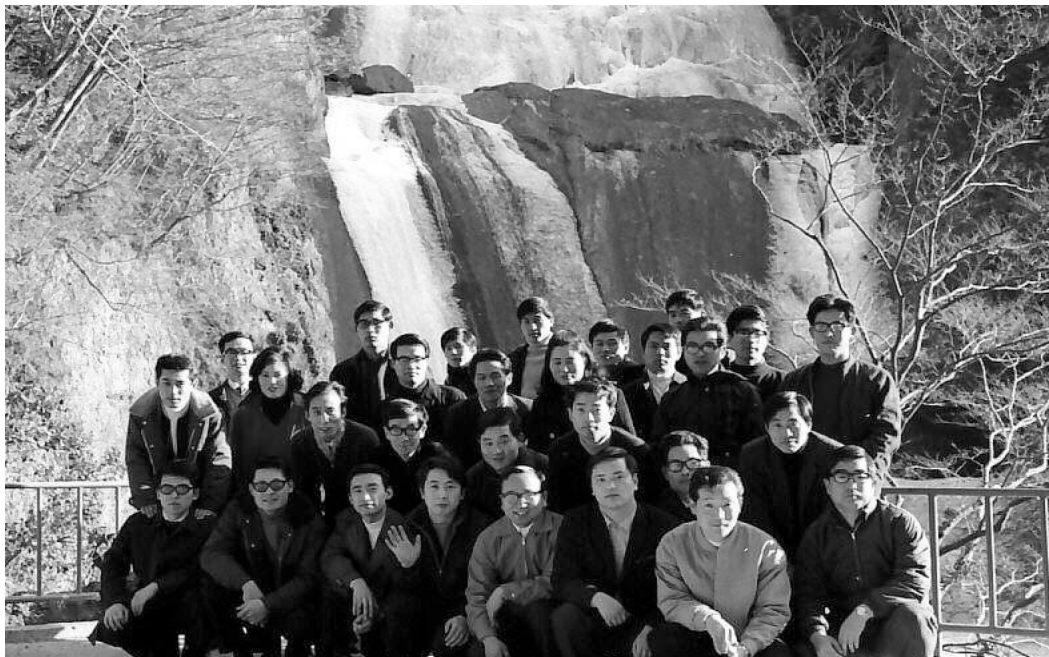
46年6月	共同開発契約に切り替え ソフトボール懇親
9月	JNR工事部会設置 久慈浜で地引き網
10月	3シフト（ハード1、ソフト2）作業 ソフト工程管理専任者設置 毎朝個人チェック 6つのテストシステム 3つのダイヤ
12月1日	戸塚よりGD持込 日立ー東京間出荷リハーサル
12月20日	（お）にて 出荷判定会議
23日	打ち上げ 阿字ヶ浦一泊
24日	JNRメンバー帰京 深夜輸送 6号国道 車列30km制限
28日-2日	指令所据付、ハード調整

COMTRAC-P h 1 建設経過 (S47年より48年)

47年1月4日	東京集合
3月9日	JNR総合監査
15日	JNR岡山開業 連日米原付近でレール折損
4月1日	新幹線初の順法闘争（10日間ほど）
4月5日	国鉄総裁賞、日立へ国鉄総裁感謝状
4月20日	JNR3ヶ月仕様凍結
5月5日	日立メンバー帰（お）
10月	日立 開発体制解除
12月25日	日立社長技術賞特賞
48年4月	信号保安協会賞 オーム賞受賞 機振協技術賞 等受賞



46年4月国鉄幹部の訪問



46年3月歓迎懇親会 袋田の滝の前で初めての全員写真

国民歌謡
～ 国民の足、国鉄 ～



40年前は、皆若かった！！

(小野さんの写真を拡大しました。)

♪国民の足、国鉄は、安くて早くて安全だ、タクシーでは高すぎる、飛行機は危ないぞ～
♪(アタマ繰り返し)。

♪国民のたばこ、しんせいは、安くて本数が多い、ピースでは高すぎる、バットでは品がない～
♪(アタマ繰り返し)。

♪国民の酒、焼酎は、安くてまわりが早い、ウイスキーでは高すぎる、どぶろくは危ないぞ～
♪(アタマ繰り返し)。

♪国民のちり紙、チャッキリは、安くて枚数が多い、さくら紙は高すぎる、新聞紙は硬すぎる～
→(「ちり紙」は、ただの「紙」か、「はな紙」かも) →(「さくら紙」?「新聞紙」?)
♪(アタマ繰り返し)。

COMTRACエレジー

〈一般名詞の場合〉

1. 朝も早よから点呼され
昼は課長にガミつかれ
夜の夜中にデバッグで
泣きなき通ったCTC
2. 書いてまた消すRS
消してまた書くGFC
書かずに済ましたDFC
誰も知らないこの手抜き
3. 今日も残業で11時
トボトボたどる独身寮
冷飯かっこみ冷めた風呂
横目でにらんで我慢する
4. 総合テストの晴れ舞台
たちまちともる赤ランプ
誰のプロじゃと大騒ぎ
明日は我が身と身がすくむ

〈固有名詞の場合〉

1. 朝も早よから点呼され
昼は〇〇にガミつかれ
夜の夜中にデバッグで
泣きなき通ったCTC
2. 書いてまた消すRS
消してまた書くGFC
書かずに済ましたDFC
誰も知らないこの手抜き
3. 今日も残業で11時
トボトボたどる〇〇寮
冷飯かっこみ冷めた風呂
横目でにらんで我慢する
4. 総合テストの晴れ舞台
たちまちともる赤ランプ
〇〇プロじゃと大騒ぎ
明日は我が身と身がすくむ

当世／ご当地
はやり言葉

そこ退け
そこ退け
弘虎ツグが
通る

鬼の(イハ)ソ

銭の亡者 井原

自称 主任技師
死人技師

ベスト・セラー/ ヒット・チャート1位 詠み人知らず?



阿字ヶ浦での打ち上げ会翌朝 爆睡で心身の疲れを癒した面々



国鉄総裁表彰祝賀会 Z旗の御蔭？



Ph2プログラム開発段階 取りまとめ工場として戸塚から大みか工場に移動

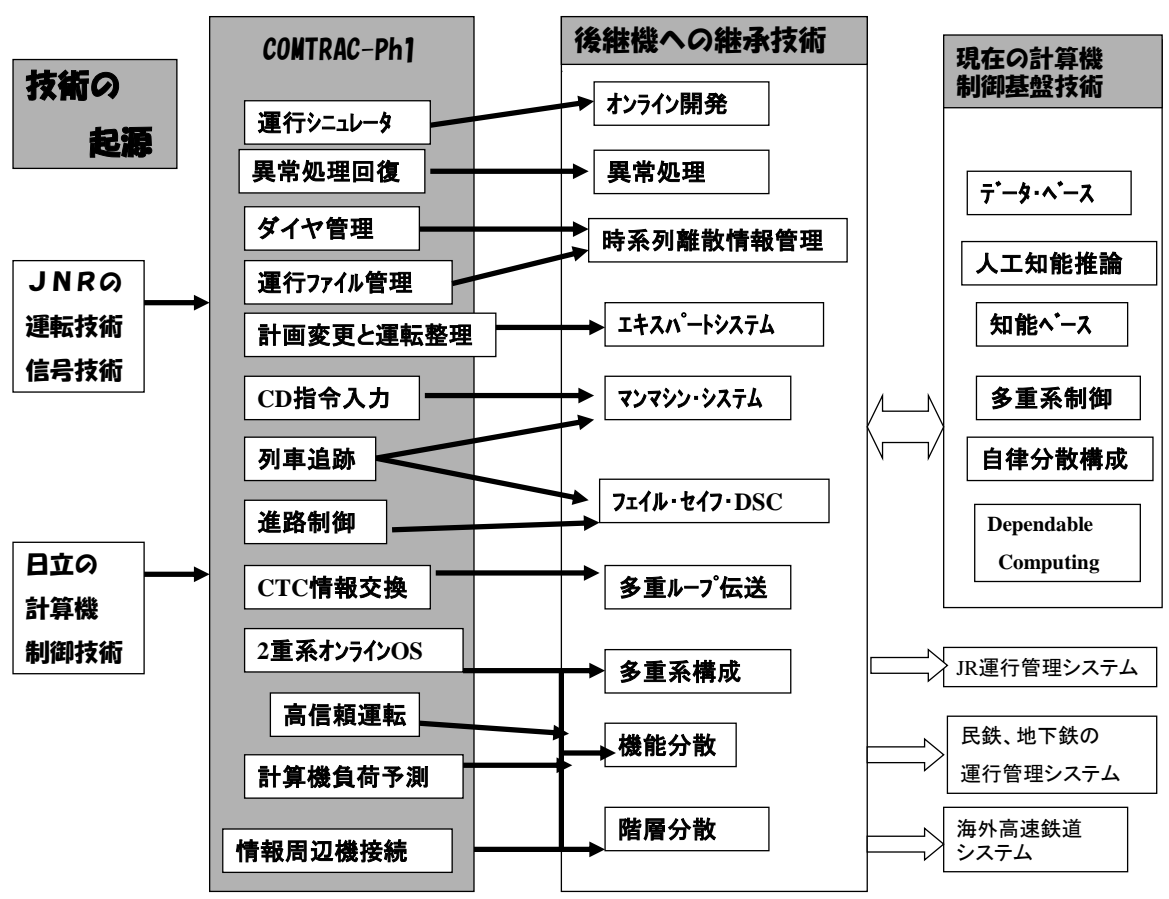
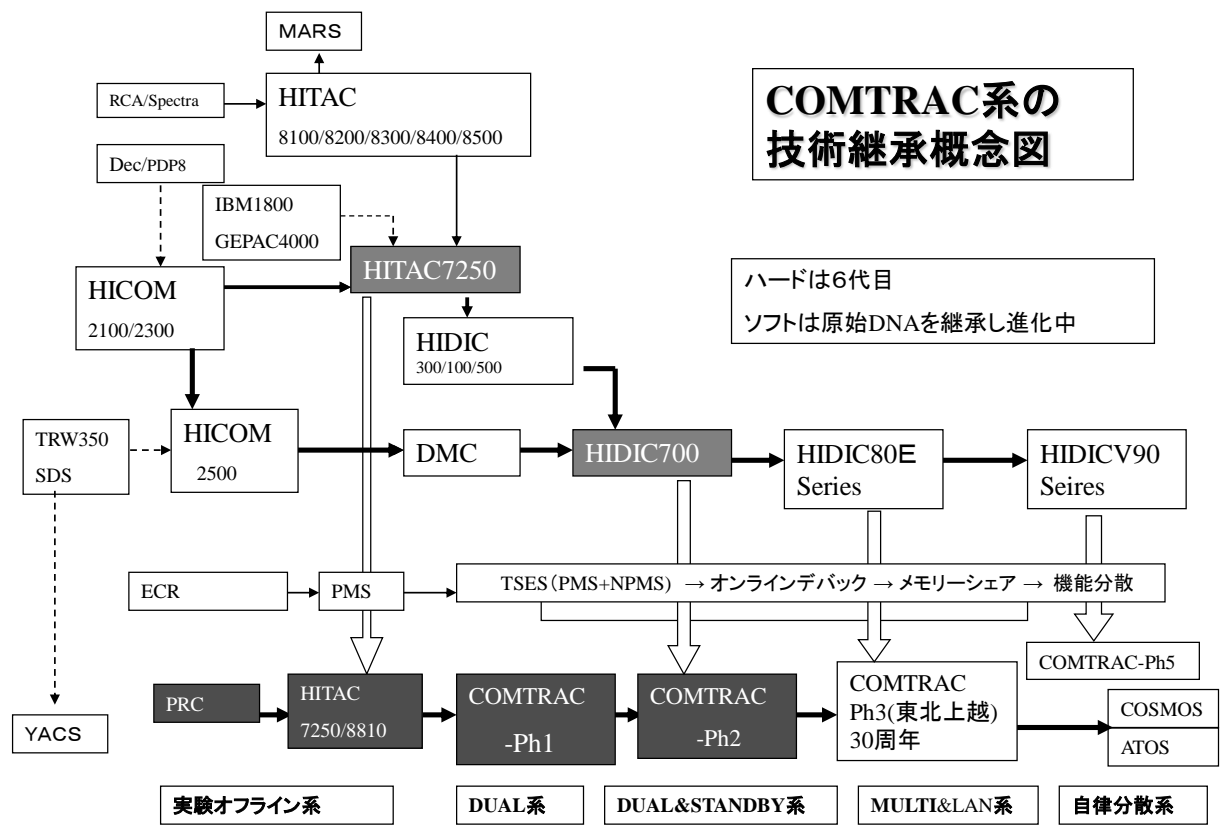
5. COMTRAC 40年間を振り返って

COMTRACの 40年間を振り返って

これまでの技術、システムの伝承

天・地・人の因果縁報

システムの開拓者精神



天の時

日本経済活動の拡大期

全国新幹線網の必要(自動車交通、航空交通への対応)

山陽新幹線の新大阪岡山間開業 1972年3月

早春の椿事でモニターランテスト加速

(寒冷気候でレール折損)(新幹線初の順法闘争)(浅間山荘事件)

産業合理化のための計算機制御市場拡大

(お)の創立と拡大基調 1969年7月

高信頼計算機出現

人の和

国鉄と日立経営陣の理解と指導

一貫した現場激励と信頼そして適切な組織化

的確な意思決定(大みか派遣、開業前倒し、出荷、総合監査)

開発環境の整備

新幹線総局、電気局、鉄道技研挙げての支援

中堅管理者、技術者による(お)現場での真摯な指導と支援

国鉄と日立の共同開発体制

ターンキー方式、レンタル方式の最適組み合わせの模索と協調

若手技術者の高い志気と献身的努力

派遣生活環境の整備(寮、アパート、ビジネスホテル)

マトリックス体制とタイガーチーム(自己管理と協調)

地の利

東京都心地区

国鉄の新幹線建設・運営の中心

COMTRAC計画と基本技術の試作

東海道新幹線建設運営経験蓄積の場

都内と日立の移動時間が2時間(近からずと遠からず)

日立大みか地区

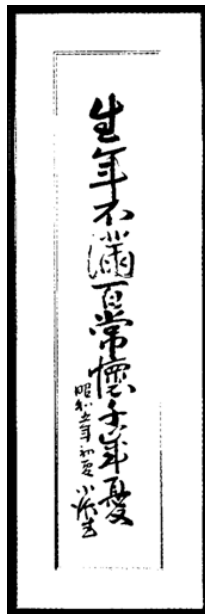
日立の計算機制御技術の蓄積(鉄鋼、FA、放送自動化等)

HITAC-7250の完成(高信頼製品完成の場)

最新の生産体制確立(牽引のフラグシップシステムが必要)

ソフト能力確保(プロジェクトマネジャー、プログラマー)

せいねん ひやくにみたずとも
つねに せんねんの うれいをおもう



小平浪平 日立創業社長

COMTRAC系システムの 発展を願って

おのれを むなしゆうして
まことをつくす



じつた「と」は「し」にする



馬場糸夫 大変人
日立研究開発の元祖

5. 付録



▲Ph1 計算機室



▲Ph1 新幹線総合指令室



▲COMTRAC 同窓会(20周年)



▲COMTRAC 30周年記念祝賀会